

次に、花いっぱいのもちづくりについてです。

花より団子な私ではありますが、花には人を引きつける大きな力があります。

本市では、山田町のあじさいロードをはじめ、船木の菖蒲園、別子銅山記念館のサツキ、マイントピア別子のシャクヤクなど、四季を通じて楽しめる花の名所が点在しております。

市ホームページにも、花ごよみとして掲載されていますが、どちらかと言えば、市民向けの情報にとどまっており、市外への積極的な発信力には乏しいように感じます。

そこでお伺いします。

本市に点在する花の名所を、観光資源として市外に広く発信することで、交流人口を増やし、地域経済の活性化につなげるべきと考えますが、そうした観点から、既存名所の魅力向上や情報発信の強化、さらに市が所有する空き地や遊休地などを活用して、新たな花の名所づくりを行う考えはないか、市の見解をお伺いします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。藤田経済部長。

○経済部長（藤田清純）（登壇）

花いっぱいのもちづくりについてお答えいたします。

現在、本市では山田町のあじさいロードをはじめとした花を楽しむことができる場所が点在しており、四季を感じることで市民の憩いの場となっているものと認識いたしております。

また、観光面においては、四国中央市と連携して、別子ラインから四国中央市の新宮までを別子・翠波はな街道と位置づけ、魅力向上に取り組んでおり、その一環として、マイントピア別子のシャクヤク、ゆらぎの森の藤などの情報発信を行っております。

地域経済の活性化につながる新たな花の名所づくりにつきましては、本市の空き地や遊休地を活用した場合におきましても、花の育成については継続的な維持管理が必要であるため、それに要する人的資源の確保等の問題から、市として新たに整備することは困難であると考えております。

しかしながら、多くの方に花を楽しんでいただくことは、本市の観光振興の一助になると考えておりますことから、今後におきましても、既存観光施設等において、魅力ある花に関するイベントを実施するとともに、市内各所の花の名所について情報収集、情報発信の強化に努めてまいります。

○議長（田窪秀道） 伊藤義男議員。

○2番（伊藤義男）（登壇） 花は人の心を和ませ、町に彩りを与える力を持っています。新居浜市には既にすばらしい花の名所が点在しており、これは誇るべき資産です。しかしながら、これらの魅力が、まだ十分に市外へ伝わっていないのが現状です。

今後は既存の花の名所の維持、発信強化に加え、市が保有する空き地や遊休地などを有効活用し、新たな花の名所として育て、情報発信と観光資源化を図る取組を積極的に行っていただくよう要望し、次の質問です。